

会議の名称	全 員 協 議 会	開催月日・令和4年4月27日 開会時間・午前・午後1時27分 閉会時間・午前・午後2時13分
出席者	南谷 清司 柴田 喜朗 栗津 明 毛利 廣次 後藤 國弘 原 一郎 川柳 雅裕 安井 智子 野口 佳宏 南谷 佳寛 豊島 保夫 堀 隆和 藤川 貴雄 山田 紘治 花村 隆 糟谷 玲子 星野 明 近藤 伸二	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者		
説明のために出席した者	松井市長 石黒副市長 國枝市長室長 宮川企画部長 松原健幸福祉部長 今井田教育委員会事務局長 吉村秘書広報課長 田中総合政策課長 永田総合政策課係長 水谷福祉課係長 廣瀬福祉課主査 伊藤高齢福祉課長 堀議会事務局長 藤井議会総務課長 大下議会総務課課長補佐 中村議会総務課主任	
協議事項	協議事項 ○ 羽島市公共施設等検討委員会からの答申について ○ その他	

【開会＝午後 1 時 2 7 分】

糟谷議長

ただいまから全員協議会を開催いたします。
初めに企画部より報告願います。

企画部長

企画部からお手元に資料ございますので、そちらに則ってご説明させていただきます。

羽島市公共施設等検討委員会からの答申について今回議題にさせていただいてご報告させていただきます。羽島市公共施設等検討委員会におかれましては、令和 3 年度に市からの諮問に応じまして、いきいき元気館及び老人福祉センターの 2 施設の今後のあり方について検討いただきまして、委員会としての意見を取りまとめられ、去る 4 月 1 4 日に委員長から市長に答申がされたところでございます。委員会から提出されました答申書については既に 4 月 1 4 日付けで議員の皆様へ情報提供させていただいております。改めて、本日同じ資料となりますけれども、会議資料としてお手元に配付させていただきました。

それでは、委員会からの答申内容について、かいつまんでご説明申し上げたいと思います。お手元資料の 7 ページをご覧ください。公共施設等検討委員会におかれましては、令和 3 年度に計 5 回の委員会を開催いただきまして、2 施設のあり方について慎重に議論を重ねていただきました。委員会ではまず 2 施設の利用状況でしたり、老朽化の状況など、現状を確認いただいた上でその施設が有する機能について必要性、代替性を踏まえ検討いただき、今後のあり方について方向性をまとめられたところでございます。

1 ページお戻りいただきまして、5 ページ 6 ページをご覧くださいと思います。こちらが答申の内容になります。まず 5 ページの 1 のいきいき元気館につきましてご説明申し上げたいと思います。この施設が有する機能別に、まず地域活動支援センターの状況についてでございます。運営事業者が撤退されるが、公共事業または民間事業にて、同様、類似のサービスが多く提供されており、現在の利用者のニーズがこれらのサービスにより代替が可能であれば現施設での事業継続の必要性は低いものとする。引き続きニーズの把握に努め、障害者の行き場がなくなることがないように十分留意することのご意見をいただいております。また、適応指導教室こだまについては、不登校児童生徒の現状や市内に同様の機能を持つ施設がないことから必要であるが、地域活動支援センターの運営が継続されな

い中、現施設にこだまのみを残して運用することは今後の施設更新費用等を勘案すると効率的ではないため、他の公共施設等へ移転した上で、いきいき元気館を廃止することが望ましいとのご意見をいただいております。なお、各種団体の事務所については、移転について団体と協議を行い、場合によっては公共施設内で使用可能なスペースができれば検討することが望ましいとされております。

続きまして、2の老人福祉センターの部分につきましてご説明申し上げたいと思います。老朽化が進み、既に施設の故障が発生している状況にあり、施設を安全かつ快適に利用するには多額の費用を要する一方、今後も高齢者が増加する状況にあることから、統合や代替による事業継続について検討が出されました。入浴機能については、市内に老人福祉センター羽島温泉があること、今後岐阜羽島衛生施設組合が次期ごみ処理施設内において入浴施設を整備予定であることから、市民への影響は少ないものと考えたとされております。また、生活相談や健康相談については、既に羽島温泉や市役所市民総合相談室で各種相談が実施されているとともに、地域包括支援センターや介護予防教室で専門職による相談が行われており、これらの取り組みを広げていくことで、現在の機能を充実できると考えたとされております。教養講座の実施やサークル活動の利用、老人クラブの支援については、今後の高齢者の増加に伴いニーズが高まるとともに、多様化が進むことが予測される中、市内においては身近な地域に密着した活動が展開されている一方、地域によって参加者の減少により活動の低下が懸念されていることから、市内各コミュニティセンターや市役所の市民活動スペース等の地域に密着した場所に活動の拠点を移行し、充実を図りつつ、規模の大きな活動や集約による効果が見込まれる活動は市民会館等で行うといった二分化した公共施設の利用が効率的、効果的であると考えます。その際、できる限り利用者の負担を軽減できる工夫や教養講座について、介護予防や生きがいつくり役に役立つ講座など、内容のさらなる充実が望まれるとのご意見をいただいております。

以上により、公共施設の保有量を適切な量としつつもできる限り行政サービスの低下を生じさせないよう、老人福祉センターはやむを得ず廃止し、羽島温泉への機能統合や他公共施設での代替により対応することが妥当であるとの結論をいただいております。なお、本施設の廃止が老人クラブの活動低下に繋がらないように支援の継続と適切な助言をされるよう要望するとのご意見もいただいたところで

ございます。最後の段落になりますけれども、最後に全国の自治体が共通して抱える公共施設の課題については、施設の実情や市民ニーズ等を勘案し、サービス水準を確保しながら人口構成や財政事情等に応じた身の丈に合った適正な施設保有量を実現していくことが重要であり、羽島市公共施設等総合管理計画に設定されている削減目標を踏まえ、今後も引き続き施設保有量の適正化に向けた取り組みを進めていただきたい。施設の廃止により利用者の活動に変化が生じるものの、行政と市民が一体となって、創意工夫により人口減少や少子化・高齢化の時代を乗り切っていくことを望むとのご意見をいただいております。答申内容については以上となります。今後この答申内容を踏まえつつ検討の上、市としての方針を決定してまいりたいと考えております。以上でございます。

糟谷議長

ただいまの報告について何かご質問等ございませんか。

花村議員

老人福祉センターについてお尋ねをいたしますが、入浴機能については、老人福祉センター羽島温泉があるというふうで答申出ておりますけれども、一方で羽島市の方は羽島市公共施設等総合管理計画の中で、既に羽島温泉については統廃合を含めて検討しますということで、羽島温泉についても廃止がありうる状況にあるわけですけれども、このことについて羽島温泉のこういった状況について委員の方に説明しましたか。

企画部長

公共施設等総合管理計画第4次改定の際に中身についてご議論いただいておりますので、その部分については委員会の委員の皆様はご存知であるというふうな形で認識しております。

花村議員

今後廃止の可能性がある老人福祉センター羽島温泉があるから、この老人福祉センターを廃止していいという考え方については、私が今申し上げたように、廃止の可能性があるのにそれを代替施設として活用できるからというふうで、老人福祉センターを廃止していくという考え方、そしてまた今回の検討委員会の進め方には多様な疑問を持つということ、意見を申し上げます。

堀議員

今花村議員の話された老人福祉センターの件ですが、羽島温泉の方は以前に比べてかなり入場者が少なくなっている。そして、羽島市の南端にあるということで、利用者と

しては羽島市の中心部にある老人福祉センターの方が利用しやすいという方もあります。そんな点から、お年寄りですのあそこまで行くのはとてもかなわんわというような方も私は聞いております。そんな意味で、老人福祉センターをなくすということについては疑問に思っております。それから、先ほどの教養講座とかサークル活動、そして健康体操等もやられていたと思います。それが羽島温泉とか、他の場所というようなことを今発言されましたが、全市的な老人の方、お年寄りの方が全市的にやる場合については、やはり老人福祉センターのような施設があった方が私は妥当だと思います。そんな意味で老人福祉センターを廃止していくという方向については反対をいたします。

それからもう一点ですが、羽島市は先ほどの公共施設等管理計画によりますと、その時点での羽島市の公共施設は県下42市町村中41位という人口当たりの延べ床面積であります。最下位は岐南町です。それが今後管理計画によって羽島市は23%削減するという計画を持っております。岐南町は12.5%であります。そうしますと、羽島市が県下42市町村中、多分私は42番目、最下位に公共施設はなるんじゃないかというふうに危惧しております。そんな意味で、老人福祉センターについてなくすということについては、反対ということで私は考えております。その点でよろしくお願いいたします。

そしてもう一点ですが、庁舎の方で中庁舎と北庁舎は残されるということを聞いております。それで、中庁舎については、まだ何に活用するかというように。

糟谷議長

今回はいきいき元気館及び老人福祉センターの施設についてご質問をお願いします。

堀議員

それに関してです。だから、そのような庁舎を残す、何に利用するということがわからないような目的のために残していくという、それについては目的意識がはっきりしている老人福祉センター、それから老人福祉センターは先ほどお風呂なんかも悪くなっているということを言われまして、多額の経費がかかるということを言ってみえますが、もう2年ほどお風呂は使ってみえないと思います。私が聞きましたところ、ボイラーを直すのにどれくらいかかるかというようなことでお聞きしましたところ530万円くらい。

糟谷議長	質問をお願いいたします。
堀議員	多額ではないと私は判断しますので、そんな意味での老人福祉センターのこれからの対処の仕方について疑問を呈しております。以上です。
企画部長	ご意見だと思うんですけど、一部、今500万うんぬんという話が出てきました。長寿命化した場合、例えば今から20年間、令和25年なり26年まで使いましょうという形にすると、老人福祉センターで4.1億円かかります。なので、目先のことだけではなくて、将来のことを考えてどうしていきますかというものを市として決めていくという流れになっていきますので、その辺は十分ご理解いただきたいというのと、何度も申し上げますけれども、まだ市の意見ではなくて、答申をいただいた時点ですので、これからいろんな状況を含めて、勘案していくという形になりますので、それを踏まえた形でご質問いただければと思います。以上です。
川柳議員	一点お聞きします。本当に委員の皆様には、私も傍聴しておりましたけども、よく検討・審議していただいたというふうに思っています。その中で一点だけですが、委員の皆さんはこの現場へ何回行かれましたか。
企画部長	この会自体では行ってはいない状況になってはいますがけれども、現場の写真をいろいろ撮ってお見せしたりとか、それぞれ各委員さん個人では行かれているという話は、私の方の耳に入ってきております。以上です。
川柳議員	ということは写真とか図面で説明されたということで、現場へ行って足を踏み入れて利用者の意見を聞いたり、または現場の雰囲気を感じ取られたってということはなかったことですね。
企画部長	委員会としてはないんですけども、それぞれ個人として行かれているというのは聞いています。委員会として場所をセッティングして行きましたということは特段ないです。おっしゃる通りです。
堀議員	老人福祉センターは、耐震強度はどれくらいですか。
健幸福祉部長	平成18年の12月の2次診断におけるIS値は0.

堀議員	<p>99でございます。</p> <p>0.99と言われましたが4.1億円かかるという話です。どのようなあの工事をやられるのか。教えてください。</p>
健福祉部長	<p>工事内容の詳細についてはございませんが、耐震に関しては先ほどのIS値の通りでございますが、建物自体の健全度判定といったものが、BとかCとかいうランクがございますが、ほぼC、全体的に劣化が進行しているという状況でございますのでご理解をいただきたいと思っております。</p>
山田議員	<p>先ほどのIS値0.99、他の施設については、あくまでIS値で判断して壊すとか壊さないとかおっしゃいますが、なぜ0.99もあるものを、修理して直していけば十分間に合う、今のこの時代、私は絶えず言っておりますが、長寿命化、これをぜひ考えるべきであって、ただ今先ほど企画部長が言いましたが、今やって20年もつのか、私は素人的ですが持つと思っております。20年は、それをあえて壊すという方向へ行かれること自体について私は本当に疑問に思うわけですが、その関係についてちょっとご答弁をお願いしたいと思っております。</p>
企画部長	<p>あくまで答申としていただいた時点ですので、意見としてまだ統制が取れてるわけではないので、私の意見だけを申し上げることはできませんが、やはり先を見た形で、耐震の条件だけではなくて、雨漏りでしたりとか外壁の状況だったりとか、総合的に判断しつつ、それぞれ例えばコミュニティセンターにその活動拠点を移していくだったりとか、そういったものを答申の中でいただいておりますので、そういったものを複合的に勘案して市としての意見を決定していきたいというふうに考えています。以上です。</p>
山田議員	<p>私はお互いに揚げ足取ってああだこうだなんてことは本当に言いたくないんですが、本当にやはり我々は血税を使っているわけですから、それからもう一つは、我々公務員は市民の奉仕者ということをぜひ忘れずに進むべきだと、そのように思っています。それにつきまして、羽島温泉、かなり古い、本当に管がいつ壊れてもいいという状況なんです、そういう点についてはどのようにお考えになってみえるかお尋ねいたします。</p>
糟谷議長	<p>今日はいきいき元気館と老人福祉センターの施設につい</p>

<p>山田議員</p>	<p>て質問をお願いいたします。</p> <p>今の老人福祉センターを壊して、あちらにお風呂があるというような話ですから私は聞いているだけであって、今後、市の考え方として、どのように考えてみえるかということは今この場で聞いているだけです。</p>
<p>企画部長</p>	<p>何度も申し上げますけれど、今の時点で市としての意見を明確に発言することができないので、その辺はご理解いただきたいと思うんですけれど、それで納得いただけないようであれば、市の方針として出た時点でまたご意見いただければと思うんですけれど。</p>
<p>山田議員</p>	<p>前からそうですが、答申と言われるわけですがけれども、ここで今我々議員がそれぞれ時間もないですけれども、この問題について各委員会でこれは議員としてやっていくべきかなとそんなことも思いますけれども、ただ答申だからというふうに押し切られて、我々のそういう考える時間というのか、あるいは協議する時間というのが本当に少ないわけですので、先ほど企画部長がおっしゃいましたように、これはあくまで答申の説明をしているだけだと、だからまだ執行部としては結論を出しているわけではないと私はお聞き致しましたが、ぜひ、これは要望にしておきますけれども、はっきりと本当に答えが我々理解できるような、あるいは市民に理解できるような、そんな答えを私はしていただきたいと思って、これは要望にします。</p>
<p>柴田議員</p>	<p>だいたいの概算でいいんですけど、両施設の解体費用は出ている状況でしょうか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>今の状況としては、解体費用の特段の見積もりを取っているわけではないです。長寿命化したときに今後どれだけの費用負担が発生してきますかというお話をさせていただいている状況になりますので、解体ありきで話しをしている訳ではございませんので、解体の費用だったりとかの見積もりは今のところとっていないような形になります。</p>
<p>堀議員</p>	<p>先ほど建物の健全性のために4.1億円というお話がありました。その4.1億円、私としましては、耐震をやるならかなりお金はかかるんじゃないかというふうに思っておりますので、4.1億円、耐震やらなくてもいい想定とかそういうものであればそれほどかからないんじゃないか</p>

	<p>ということをおもっております。その見積もりは出ているのかということ、もし出ていたら見せていただけるのかということについてお尋ねをいたします。</p>
<p>企画部長</p>	<p>公共施設総合管理計画を作っていく上で個別施設計画というのがありますので、そちらを公表させていただいておりますけれども、そちらを見ていただければどのぐらい費用を積算しているのかわかりますので、今ちよっと手元がないので、そちらを見ていただきたいと思います。</p>
<p>栗津議員</p>	<p>市の方針はいつ頃までにそのような計画をする予定ですか教えてください。</p>
<p>企画部長</p>	<p>今年度内には粗々方向性を決めていきたいと考えております。</p>
<p>栗津議員</p>	<p>市が方向性を決めて、我々議会に報告あった時点では決定ということではないわけですね。まだ相談するという余地はあるという考え方でいいですか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>例えばですけれど、この中で、この研究会に何回か出られている方いらっしゃいますか。1回でも出ていけばその議論の流れでしたりとか、そういったものがわかるかと思っておりますので、もし出られてないようであれば、まず経緯を見ていただいて、状況を判断していただいてそれぞれ勉強会なり、その他諸々の討論なりをするという機会を設けることはあるのかと思っておりますけれども、まず参加していただいている方はそちらの議論を見ていただいて、ある程度勉強していただければと思います。以上です。</p>
<p>糟谷議長</p>	<p>その他ご質問等ございませんか。</p> <p>(特になし)</p>
<p>糟谷議長</p>	<p>ないようですので、これで終了いたします。ここで執行部の方は退席していただいて結構です。ご苦勞様ございました。</p> <p>(執行部退席)</p>
<p>糟谷議長</p>	<p>続きましてその他についてですが、事務局よりご報告願います。</p>

議会総務課長

事務局から報告させていただきます。3月16日の全員協議会において議会改革特別委員会委員長から報告がありました委員会等会議録の公開、議案の公開、傍聴者への議案の貸し出し、本会議のYouTubeでの公開につきましては、委員会等会議録の公開は令和4年4月会議分から、議案の公開、傍聴者への議案の貸し出し、本会議のYouTube配信については次回本会議から実施いたします。また、歴代議長の銘板につきましては、昨年全員協議会で協議し、令和4年度予算に計上されております。その際、経費等を考慮し、木製の銘板ということで説明しておりました。その後、新庁舎が供用開始し、新庁舎に木製の銘板のようなものはあまりなく事務局として新庁舎に木製の銘板が合わないのではないかとということで、見積り業者に設置場所等とあわせて相談しましたところ、予算内で木製以外に庁舎と統一感のある銘板をということでご提案をいただきました。お手元のイメージ図をご覧ください。こちらは新庁舎でいいますと、エレベーターの前などに設置してあります各フロアの案内表示と同じような仕様の銘板ということで、ベースはボンデ鋼板、表面はアクリル板で飾り、ビスで止めるという形の銘板ということでご提案をいただきました。また、鋼板とアクリル板の銘板の場合はサイズの方も、木製よりも横20cm、縦12cmほど大きくすることが可能となります。今後、銘板の契約事務等を進めていくこととなりますが、木製の銘板にされるか鋼板とアクリル板の銘板にされるかということでご協議いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

糟谷議長

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問等ございますか。

南谷清司議員

最初の議事録の公開の方ですけれど、委員会等と言われましたけれど、等に入るのは羽島市議会で設置されている例えばこの全員協議会とか、そういうのも入るといいますか。

議会総務課長

全ての会議になります。

南谷清司議員

ということは全員協議会とか代表者会議も入るといいますね。了解しました。

山田議員

先ほどの議長の銘板なんですけれども、サイズは1m8

	<p>0 c mの7 5 c mで、現在ですとどれぐらいまでいつているのか、河村さんが初代でしたか、そこからずっと来て、今ちょうど、1 0 0まで来たのか。</p>
糟谷議長	<p>6 6。</p>
山田議員	<p>ずいぶん掛けれるということやね。残りはあることやね。それからの先ほどの位置の関係ですが、やはりこれ何も議員の控室でなくてもいいけど、例えば議長室とか、そういうところに貼るべきであって、エレベーターの前と言われましたね。</p>
議会総務課長	<p>設置場所につきましては、議会事務局の西出入口の隣の壁に銘板を設置する予定であります。先ほど言いましたエレベーターというのは、エレベーター前の案内表示と似たような仕様の銘板ということで、例として挙げさせていただきました。</p>
山田議員	<p>これもお互いの価値観の問題があると思いますけれども、何でも廊下とか、そんなところに提示するのではなしに、私はやはりこういう歴代議長ですから、やはり議長室に貼れるスペースがあると思いますので、そんなところに貼っていただくのがふさわしいのではないかなと、このように思います。</p>
糟谷議長	<p>設置場所は議会改革で決められたということはなかったですか。話し合われましたよね。皆さんどのように思われますか。他の方のご意見を伺いたいと思います。</p>
花村議員	<p>私は議長室にあった方がいいんじゃないかなと思います。</p>
藤川議員	<p>今回素材が変わるということであれですけど、まず、何のために掲示するかということですよ。記録として残しておくためというのが一つあって、それを記録として残ったものを誰もがみれるようにするというのを考えるのであれば、事務局案の事務局の横のドアの壁でしたら議場への入り口にもなりますし、皆さんに見ていただけるのかなというのはありますので、設置場所については多く市民が目につくところの方が、他所の市議会でも廊下に飾ったりしていますので、そこの方がいいんじゃないかなと思います。素材についてなんですけど。合う合わないとい</p>

う話で、今回変更の提案が事務局の方から出されたというふうにも今説明がありましたけれど、ここに来るまでそれはわからなかったのかなというのがちょっと、庁舎建ってから半年ぐらい経ちますけど、合わないから変更のことについても業者さんと相談していただいたと思うのですが、これなら合いますか、この素材なら、絵では反射していてよくわかりづらいんです。雰囲気はちょっとこの絵からはちょっと読めないものですから。

糟谷議長

業者の方が進められたってことですね。

議会総務課長

事務局の方から業者の方に先ほど申しました設置場所などをどこでしたら合いますかという話のときに出てきました。

堀議員

今の設置場所とか材質、各務原市とか岐阜市とか、大垣市も新しくされておりますので、そういう事例を一遍拾っていただいて、そして今の場所と材質とかをまたちょっと提案していただだけませんか。そこでもういっぺん考えるというふうにしたらいかなということ思っております。お願いします。

野口議員

こういったことくらい私達で決めれば良いと思うんですけど、他所の市議会を参考にしてもいいでしょうけれども、こういったことくらいは私達が決めれば良いと思います。ご意見があった議長室に云々という話ですけど、議長室に飾るくらいだったら必要ないと思います。だって議員しか入れないわけでしょ。だったら事務局案で全然問題ないと思います。材質はこれも事務局案で結構でございます。以上です。

糟谷議長

予算もついていることですので、皆さんにお聞きしていきたいと思います。

近藤議員

議長室に顔写真はありましたか。

糟谷議長

あります。

近藤議員

私としては当初で。

糟谷議長

廊下に、材質もこれで。

近藤議員	お任せします。
糟谷議長	これを設置すると写真は撤去になりますけど、そういうことで、なっています。よろしいですか。
近藤議員	我々もいろんな議会見ていますが、一番丁寧にやっているとところは視察なんか行くと、どこの議会か忘れてしまったけれども、集合写真ですね、それからときの議長の写真ということでやっています、今回スペース的にも難しいことで、一部の議員だけ議長室に入っておりますけれども、私としては確かに議長室だと議員しか見ない。それから外へ行くと一般の方が見えるけど、ただ4階まで上がってみえる人はなかなか少ないと思いますけれども、私もどちらでもいいとは言いませんけれども、事務局案で外なら外でそういうふうに進められているならそれで結構です。
豊島議員	まず材質の方が事務局からということでしたが、こだわるわけじゃないですけど、できればこれからの時代を含めて、そのデザイナーの方がどう言われたか知らないけど、前のように木で希望を持っています。それから場所ですけど、場所は、寄附者なんかでも、名前だけをそっとということで、他の施設でも見受けられるか、そういうふうですので、正面というか事務局のそういう壁面でそれは構わないと思っております。つまり外で。
川柳議員	私は事務局案が良いと思います。材質の方も金属であっても構わないと思いますし、少なくとも傍聴者が見えるところに掲示するべきだというふうに思いますから、事務局案を支持します。
後藤議員	私も事務局案が良いと思います。議員が見るんじゃないくてやはり市民の方にきちっと見てもらえるようにすべきだと思っております。以上です。
栗津議員	西側というのは廊下側と違うのか。どこのこと。
議会総務課長	事務局の扉の隣です。
栗津議員	結構です。
南谷清司議員	市民にわかるように、事務局の廊下でしたか、場所と材質もその業者の方のご助言を尊重したいと思いますので、

	事務局案ということでお願いをしたいと思います。
星野議員	事務局案でよろしいです。
堀議員	先ほど言いましたように、いっぺんちょっと調べていただきたいと、他市町を。
南谷佳寛議員	事務局案で良いと思います。
安井議員	事務局案でお願いします。
原議員	事務局案でいいです。
毛利議員	事務局案で結構、よろしいです。
柴田議員	議会改革入っていたんですけど、あそこでやった意味がないなというのはすごく感じるんですけど。いくらぐらい違ったかとかという、そういう話も以前あったと思うんですけど、いくらぐらい金額が変わるのか今ここでお示しできますか。
議会総務課長	既に予算の方をお認めいただいておりますので、予算内という形で業者に話をしましたので、金額的には変わらないんですけども、大きさが木製の場合は横160cmの縦が63.3cm、ボンデ鋼板の場合は、横が180cmの縦が75cmという形で大きさが大きくなります。以上です。
柴田議員	ランニングコスト的なところで、木製だったら木の方に名前を足していけばいいっていう形だったと思うんですけど、このアクリル板だとどういう形になるのでしょうか。
議会総務課長	ビスでカバーを外して、そこに名前を追加していくという形になります。経費的にはほぼ同じ金額になります。ランニングコストは同じです。
柴田議員	名前を彫るのかなと思うんですけど。
議会総務課長	以前の木製の場合もプリントになりますので、あまり変わらないです。
糟谷議長	今回もプリント。

議会総務課長	はい。
柴田議員	事務局案で大丈夫です。
糟谷議長	皆様からご意見をいただきましたけれども、事務局案でほとんどの方が結構だということですので、それでさせていただいてよろしいでしょうか。
	(異議なし)
糟谷議長	新庁舎建設特別委員会は新庁舎建設に関する諸般の調査研究を行い、その建設促進に寄与するために、平成29年9月27日に設置し、現在まで計23回にわたり調査研究を行いました。その間、適宜進捗状況の確認や現場視察等を行い、建設促進に向けて取り組んでまいりました。今般、特別委員会での調査研究が終了いたしましたので、新庁舎建設特別委員会を廃止したいと思います。特別委員会の廃止は次回の本会議、5月臨時会で議長発議させていただきますのでよろしくお願いいたします。
栗津議員	ひと月かふた月ぐらい前に議長に申し入れたのですが、井戸水を見学させていただくという件はどうなりましたか。
糟谷議長	理由をきちんと出していただければ、理事者側に持っていきますのでよろしくお願いいたします。
栗津議員	見たいということで前から言ったんですが。
糟谷議長	見たい理由を出していただければ理事者の方に提出いたしますのでよろしくお願いいたします。 以上で全員協議会を終了いたします。
	【閉会＝午後2時13分】